

まちなみウォッチング

■ 連携している団体等の名称

■ 代表団体の連絡先

相模原市 建築部 建築総務課

Eメール ke-soumu@city.sagamihara.kanagawa.jp
ホームページ <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp>



事業の目的

市民一人一人が、景観を市民共有の財産として認識していけるようなきっかけとして、まちを見て歩き、まちの資源を知り、まちに親しみを持ってもらうことを目的として行っています。

事業の概要

公募により集まった市民の方々が、4日間の日程で、簡単なガイダンスの後グループに分かれまち歩きをしながら、テーマに基づいてまちの魅力や問題点を発見していき、自らが撮った写真やメモを基に「まちのイメージ」を参加者自身の手でまとめていきます。

年1回の実施をしており、これまでに4回、橋本駅周辺、相模大野駅周辺、相模原・矢部駅周辺、上溝周辺においてまち歩きを行ってきました。

参加者がまとめた「まちのイメージ」は毎回ニュースとして発行しており、また昨年行われた景観シンポジウムの会場において、その展示を行いました。

今後の課題・展望

より多くの参加者、そして幅広い年齢層の参加者が得られるよう、日程や内容などの検討をしているとともに、市民と景観づくりとの接点として、さらに活用していくことを考えています。



道保川を愛する会(街美化アダプト制度)

■ 連携している団体等の名称

道保川を愛する会

■ 代表団体の連絡先

世話人代表 小山直次
相模原市下溝1416-1
電話 042-778-3699



事業の目的

都市化が進む市内で、横山丘陵の段丘から流れ出る湧水を主体に形成された道保川についての、市河川整備課の多自然型川づくりという自然を生かした工事方法に感動し、「自然環境を大切に守り皆んなの憩いの場として子供や孫たちの遊ぶ場所を残していこう」と「道保川を愛する会」が発足した。

事業の概要

平成15年の夏頃から、地域住民の有志の間で道保川をボランティアにより清掃、美化活動を行う話しが進み、平成16年4月に会の名称を「道保川を愛する会」とし、市のパートナーシップ推進課及び河川整備課の職員と打ち合わせを重ね、会の役員選出、会の規約、年間活動予定、予算等を決め、市と「街美化アダプト制度」の合意書を締結しました。

最初の会の活動として3月に財団法人相模原みどりの協会支援により「花のまちづくり運動」として道保川の河川敷等ヘシバザクラ等の植栽を実施しました。

平成16年4月からは、アダプトの合意書にもとづき、1ヶ月2回(第2・4土曜日、午前8時より2時間程度)の清掃・美化活動を行っています。主に草花の植栽(会員の自宅で育てた草花)や雑草の刈り払いや外来種(オオブタクサ・セイダカアワダチソウ)の除去や河川内の空き缶やゴミの収集等を中心に行っています。

今後の課題

道保川に昔から自生している植物や、水生植物が育つように自然環境を守り、子供達の自然観察の学習や、魚取りなどの遊びの場所として、又夏はホタルが舞い四季折々の花が咲き、地域住民の憩いの場所となるように清掃・美化活動を継続して進めていきたいと思っています。

ふちのベピース・ガーデン(街美化アダプト制度)

■ 連携している団体等の名称

相模原ロータリークラブ

■ 代表団体の連絡先

相模原ローターアクトクラブ事務局

〒229-1122相模原市中央3-12-3

Tel : 042-753-2020

Fax : 042-753-2642

Eメール mayuzou48@hotmail.com

ホームページ <http://www.sagami.sunrise.co.jp/~srac/>



事業の目的

子供たちは外に出て、土に触れる機会が極めて少なくなりました。そこで、身近な公園に花壇を作りました。土に触れ、植物が育つ楽しみを経験し、公園の大切さや楽しさを共有する。また、市民が自分たちの手で地域や自然を守っていくきっかけを作ります。

事業の概要

相模原市のパートナーシップ、アダプト制度を利用し、子供を中心とした市民による公園作りを計画。昨年の9月12日に淵野辺公園に花壇を作りました。また、今年1月30日に植替えをしました。5月ごろに植替えを予定。花の購入には、(財)相模原市みどりの協会の助成をいただきました。

第1回目は事前に公園の周辺の住宅や公園に来ている人にチラシを配ったり、広報さがみはらにお知らせを載せたりした結果、一般の参加者は81名でした。5m×7mの花壇を作りました。

花はインパチエンスなど3種類を約1,000株。事前に、花壇の枠を作り地面を耕しておきました。当日は、一般参加者は9時に集合して1時間ほどで植え終わりました。参加した子供たちはとても楽しかったと言っていました。1月の植替えは、前回の参加者に呼びかけて行いました。パンジーなど3種類の花を植え、12名の方が参加しました。

今後の課題・展望

- ①花を長く持たせること。花によってはすぐに枯れてします。
- ②散水設備がなく、水遣りが大変。現状は花壇から公園内の離れた所からポリタンクで水を運んでいる。
- ③定期的な植替えの資金・参加者集め。
- ④この事業をきっかけに市民が他の場所でも緑豊かな街づくりをしていくようにすること。

SOIN 花の広場 (街美化アダプト制度)

■ 連携している団体等の名称

SOINグリーンクラブ

■ 代表団体の連絡先

相模原市印刷協同組合
Tel 042-776-6100
Fax 042-776-5656

Eメール info@soin.or.jp
ホームページ <http://www.soin.or.jp>



事業の目的

SOINグリーンクラブの母体である相模原市印刷協同組合(代表 重久正次・会員26社)は平成15年にISO14001環境マネジメントシステムの認証を取得、環境事業を手がける中で緑化事業に取り組み、自ら公園を管理する事で緑を増やし、また一般の市民の方々にも街美化を啓発する目的で行っています。

事業の概要

相模川自然の村公園の一画に「花の広場」という名称で花壇を管理しています。「花の広場」では毎年冬から春の花を秋に、夏から秋の花は春に植え付け、年2回色とりどりの花を咲かせるようにしています。植え付けの前には雑草や石を取り除く作業、整地、肥料撒きを2～3日(休日の午前中参加者は10名程度)かけて行い、花の植え付け当日は会員家族も含めて2～30名ほどが参加して、楽しみながらの作業です。

その後は毎月1～2回、担当割り当て方式で草取りや水撒きを行います。大変なのは夏の作業で、月2回では足りず毎週のように誰かしらが出ています。

当初は「花の広場」の管理作業に会員の参加者があまり少ないと継続が困難になると懸念されましたが、家族も参加する事により家族サービス、また、外気や土に触れることで健康も兼ねた1日になる為その心配も払拭され、今後も楽しく活動をしていきたいと思えます。

今後の課題・展望

この事業を当団体以外に会報、ポスター等を作成してPRし、ひとつでも多くの団体や市民の方々に参加していただき、相模原の荒れた公園や道路を花いっぱい飾り、相模原市が日本一きれいな街になる様、小さな力ではありますがその礎になりたいと思えます。

相模大野中央公園内の花壇(街美化アダプト制度)

■ 連携している団体等の名称

相模原けやきライオンズクラブ

■ 代表団体の連絡先

相模原けやきライオンズクラブ
会長 大久保真介
相模原市上鶴間本町4-48-8
Tel : 042-854-1141
Fax : 042-854-1171



Eメール info@keyaki-lc.gr.jp

ホームページ <http://www.keyaki-lc.gr.jp>

事業の目的

相模大野中央公園の環境保全と美化に努め、訪れる市民の皆様にも愛される花壇を目指し、「花いっぱい運動」を展開する。また、自分たちと一般市民が分担し種から苗木を育て、その苗木を花壇に植えるのこもった花植活動を展開する。即ちライオンズクラブと市民との協働活動を目的とする。

事業の概要

1. 相模大野中央公園内に2カ所の花壇を造園した(平成16年11月27日実行)
2. 花壇の名前と大きさ
円形花壇.....樹林(直径3m)
長方形花壇.....春夏秋冬(縦2m×横5m)
3. 花壇の基礎 枕木で廻りを囲む
4. 花の種類と使用数量

①ノースポール	70個	②パンジー	285個
③ハボタン	100個	④ジュリア	65個
⑤ピオラ	30個		

今後の課題・展望

今回はクラブと下部組織である「ライオメイト」が協力して実施した。規模的にはまだ小さくアダプトとしては物足りないが初めての活動としては成功と言える。アフターフォロー、今後の花植え等、細かい部分で検討の余地もあるが、この経験を生かし次には更なる高いアダプト活動に挑戦したい。例えば、公園内の全ての花壇の花植え活動、公園の清掃活動等はライオメイトを含めた市民との協働で活動する絶好の事業であり、みんなで大きな感動を体験できるものと考えています。

ITを活用した都市型観光情報の受発信事業 相模原市観光協会ホームページ

■ 連携している団体等の名称

相模原市観光協会
相模原市

■ 代表団体の連絡先

<事務局>

相模原市商業観光課
相模原市中央2-11-15
電話 042-769-8236
FAX 042-754-1064



Eメール info@e-sagamihara.com ホームページ <http://www.e-sagamihara.com>

事業の目的

相模原市の観光振興の指針である「相模原市観光振興計画」(平成14年3月策定)では、「都市型観光のネットワークづくり」を推進するため、観光情報のPR手法のひとつとして、ITを活用した都市型観光情報の受発信事業を掲げています。これに基づき、相模原市観光協会では、民間事業者との連携をはかり、また、受信者に実際にウォーキングコースを歩いていただくなど、パートナーシップにより、「相模原市観光協会ホームページいいーさがみはら(e-sagamihara)」をつくりました。

事業の概要

「いいーさがみはら」は、地区の観光協会、商店街、マスコミ、旅行社等の観光協会会員に、主婦、インターンシップの学生らに加わっていただき17名のメンバーでワーキンググループを作り、受信者、発信者、製作者のそれぞれの側の立場からの検討を行いました。8回の検討会議を重ね、ホームページの骨格や内容、発信方法等を決めました。

○トップページ、祭り・イベント、おすすめスポット・情報、四季折々、気軽にウォーキング、我がまちオンリーワン、相模原の特産物、相模原でお店探し、相模原リンクの9部門で構成。

○平成16年(2004年)3月15日開設

○ヒット数 約61,000件(平成17年1月末現在)

<特徴>

- (1)「観光協会ニュース」は、花火大会開催の有無等の情報やイベントの当日情報など、その日の情報をその場でリアルタイムに更新。
- (2)相模原の季節感ある自然風景、身近な花の名所・イベントなど旬の情報のほか、市内での新たな観光資源情報など市民からの情報を積極的に受け入れ、都市そのものをテーマパークにみたてた新たな都市型観光資源の発掘につとめています。
- (3)アテネ五輪男子平泳ぎ金メダルの北島康介選手らも出場し、さがみはらグリーンプールで9月に行われたインカレ(日本学生選手権水泳競技大会)なども都市型観光資源ととらえ、積極的にPRしました。

「いいーさがみはら」はこれからも相模原の魅力をタイムリー発信していきます！！

皆様のHPにもリンクを張ってご活用ください。バナーはこちらで →



相模原市自然環境観察員事業

■ 連携している団体等の名称

相模原市 環境対策課

■ 代表団体の連絡先

相模原市 環境対策課

電話 042-769-8240

FAX 042-753-9413

Eメール kankyoutaisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp



事業の目的

自然環境観察員制度は、相模原の身近な自然に目を向け、市民と行政が一体となって自然環境を調査し、自然への関心を高めるとともに環境の現状と変化を捉えることを目的としています。また、調査結果を自然監視・保全の基礎資料として継続的に集積しています。

事業の概要

相模原の自然環境調査のため毎年3月に翌年度活動していただく自然環境観察員を市民の皆さんから募集しています。

調査は、年2回、全市域を対象に地域の自然をはかるものさしとなる「指標動植物種」を中心に実施しています。

また、自然環境に関する知識の向上を目的に自然の動植物に関する環境セミナー、植物や湧水などの専門的な調査、環境活動の学習会などを開催しています。

調査の結果は、自然環境基礎調査のデータとして蓄積するとともに、指標動植物種を更新する際の基礎データとして活用します。

今後の課題・展望

自然環境の調査は、継続的に実施することが大切です。そこで、市内全域の調査を10テーマ（毎年2テーマ）に定め、5年ごとの生息、生育状況の調査を続けます。また、調査をはじめ自然環境活動の知識とノウハウを身に付ける学習会の開催、ワークショップなど市民と行政の協働で進めていきます。

みどりのボランティア育成・支援事業

■ 連携している団体等の名称

財団法人 相模原市みどりの協会

<所在地・連絡先>

相模原市麻溝台2,317番地

電話 042(777)2860

<http://www.sagamihara-green.or.jp/>



事業の目的

市の保全緑地等の維持管理や観察・調査などを市民ボランティアに委ねるとともに、これを積極的に育成・支援することにより、市民主体の森づくりを推進し、行政と市民ボランティアの連携による「市民参加型みどりのまちづくり」と緑地等の保全・活用の充実に努めるものです。

事業の概要

財団法人相模原市みどりの協会を通じて、緑地保全・緑化推進に取り組む市民ボランティアの育成・支援を行っています。

<主な育成・支援内容>

相模原麻溝公園、相模原北公園などを中心に、アジサイの植栽や剪定を行う「アジサイボランティア」、バラの剪定・施肥など相模原北公園の花の管理を行う「相模原北公園花のボランティア」、公園に植栽された樹木の樹種調査や樹名板の設置を行う「樹木の探偵団」、クレマチスの剪定、誘引などの管理を行う「相模原クレマチスの会」などに対して技術指導や材料の提供を行っているほか、『木もれびの森』や『ふれあいの森』など市内の緑地で保全活動に取り組む市民グループに対して、機材の貸し出し、緑地保全に係る情報提供や講習会の開催など、活動支援をしています。

今後の課題・展望

木もれびの森などの貴重な樹林環境を将来にわたって良好に保全するためには、市民参加によるみどりのまちづくりを更に推進する必要があります。

今後は、育成・支援団体のネットワーク化など、市民ボランティア間の相互連携を図り、より多くの市民の方に参加していただけるよう努めていきます。

自然体験活動リーダー養成講座

(川のボランティア育成事業)

■ 連携している団体等の名称

■ 代表団体の連絡先

相模原市役所 環境保全部 みどり対策課
〒229-8611 相模原市中央2-11-15
電話 042-769-8242



事業の目的

川などをフィールドにしたボランティアの育成を目的として、自然体験活動リーダー(コーン・リーダー)養成講座を開催しています。この講座を修了すると「自然体験活動リーダー」の資格が取得できます。

事業の概要

自然体験活動リーダーとは・・・

野外体験、環境学習、アウトドア・スポーツなどの自然体験活動のリーダーで、自然体験活動協議会(愛称コーン、NPO法人)が認定します。コーンは、野鳥の会やボーイスカウト協会、キャンプ協会など260もの団体が加入しています。

プログラム・メニュー(講義と実習)

- 自然を知ろう
- 自然体験活動の指導法
- 安全対策
- 人、社会、文化との関わり
- プログラムづくりの基礎など



募集内容(平成16年度に実施した内容)

対象 18歳以上の方で、講座修了後に継続してボランティア活動や自然体験活動をされる方
日時 12月11日(土)、12日(日)、19日(日)の3日間。9時から17時まで(部分参加は不可)
会場 相模川ふれあい科学館(講義)・周辺河原(実習)
申込 みどり対策課へ、直接電話で申し込み。(12月3日まで。定員20名)
参加費 1,000円(テキスト代等)

学校支援ボランティア活動の推進事業

◎学校支援ボランティア活動として、市内近隣10大学の学生による「学生ボランティア事業」を展開しています。

■ 連携している団体等の名称

16年度から実施の「学生ボランティア事業」で連携している大学
麻布大学・青山学院大学・北里大学
女子美術大学・和泉短期大学・玉川大学
桜美林大学・相模女子大学
大妻女子大学・職業能力開発総合大学校



■ 代表団体の連絡先

相模原市教育委員会
学校教育部指導課

Eメール shidouka@sagamihara-kng.ed.jp

ホームページ <http://www.sagamihara-kng.ed.jp/kyouiku/>

事業の目的

学習指導要領の趣旨を生かし、また、相模原市教育改革懇談会の提言を受けて、多様な教育活動や地域に開かれた学校づくりを進めるために、学校教育への外部協力者の参画を円滑に行っていくことを目的としています。

事業の概要

平成16年度から、市内近隣の大学と連携して、小・中学校における学生ボランティアの募集と応募が、円滑に行われるための「学生ボランティア事業」を実施しています。

これは、教育委員会のホームページに「学校支援情報システム」を設置し、小・中学校からの学生ボランティア募集情報を大学及び一般に公開しているものです。

このことにより、授業への支援ばかりでなく休み時間の子どもたちとのふれあいや、個別に配慮が望まれる子どもたちへの支援など、様々な教育活動に学生ボランティアの参加をいただいています。

課題・展望

今後は、学生ボランティアの実践を通して「小中学校・大学連携」をさらに深めるとともに、各大学の特色を生かした連携のあり方を探っていきたいと考えております。また、地域のボランティアに係る運営システムの整備・充実、および円滑に推進するための諸条件の整備にも努めていきたいと思っております。